

多高通信

第125号 平成27年12月25日発行

東北地方高校生 韓国招待事業 韓国に行ってきました！

10月23日から4日間、東北地方高校生韓国招待事業として本校の1年生2名が韓国での研修旅行へ招待されました。



■亀山侑可(1年3組 しらかし台中出身)

今回の韓国招待事業への参加は、私にとって初の海外ということもあり、出発前は不安なこともありましたが、様々な体験ができて非常に充実した3泊4日を過ごすことができました。MBC WORLD という放送ターマパークでは、映像を通して BIGBANG などのスターと交流したり、まるで本物が目の前にいるかのようなライブを体験したりして、夢のような時間を過ごすことができました。また、日本語科の大学生との交流では、仙台の牛タンのお話をしました。宮城の事は知らないだろうと思っていたので嬉しく感じました。買い物ときはどの店員さんも気軽に話しかけてくれ、フレンドリーな方が多いのだなと感じました。言語や食の違いで戸惑ってしまうこともありましたが、たくさんの思い出ができました！

国立教育政策研究所 特別授業

「21世紀に求められる資質・能力」

11月16日、国立教育政策研究所教育課程研究センターの後藤顕一総括研究官を本校にお招きして、2年生2クラスを対象とした特別授業「21世紀に求められる資質・能力とは」が行われました。「こ

れからの時代はどんな世の中だと思うか」「これからの社会に求められる力は、どんな力だと思うか」「学校のどんな場面で「これからの社会に求められる力」をつけていけると思うか」という内容で、具体的に生徒が活動し考え、いく形式の授業を通じて学校での学びについて改めて考えるきっかけとなりました。

新潟県立県央工業交流会



復興に向けた工事の見学

11月19日、新潟県立新潟県立工業高校との生徒間交流が行われました。県央工業高校からは生徒2名と先生1名が来校され、津波波高プレートの見学などのまち歩きや、本校の生徒会と学校紹介などの交流会を行いました。

■生徒会長 岩佐彩音 (2年1組 多賀城中出身)

今回の交流会では、主にお互いの高校の活動を発表しています。この交流会で、県央工業高校の生徒会活動や学習活動、地域での防災活動などについてのお話を伺いました。この防災活動に生かしていきたいと思えます。



お互いの高校の活動を発表しています

■生徒会総務 門間大輝(1年4組 塩竈二中出身)

れからの多賀城高校の生徒会活動に生かしていきたいと思えます。

弓道部女子東北大会3位！

先月行われた県新人大会で2連覇を達成し、東北大会・全国大会へ駒を進めた弓道部女子が、東北大会に出場し、見事第3位に輝きました。12月23日からは宇都宮市で行われる全国大会が控えています。全国大会でも上位入賞を目指し頑張ってください！



東北学院大学 協力授業 「避難シミュレーション」

11月21日、東北学院大学・土樋キャンパスで行われた「避難シミュレーション」ワークショップに、本校有志生徒の1年生38名が参加してきました。

これは、COC事業の一環として行っている東北学院大学の「平成27年度東北学院大学学長研究助成金事業(研究者代表・志子田有光工学部教授)がTAアップして実施するもので、「避難シミュレーション」のほか、基調講演も行われました。

まずは、教養学部地域構想学科の松本秀明教授による基調講演が行われ、縄文時代から現代までの地域の自然環境の変化とそのメカニズムを理解することの大切さについて教えていただきました。また、同研究室がNHKのテレビ番組「プラタモリ」に出演した様子などが紹介されました。

次に、災害時の避難行動の特性に関する研究を行っている工学部電子工学科の学生の発表があり、ひき続き定められた条件下に基づき実際に避難するという「避難シミュレーション」に取り組みました。これは、避難に要した時間や行動などの様々なデータを収集し、その分析や検証を行い今後の避難態勢を考えていく研究に役立てるものとなります。

参加した生徒は、初めての状況下で、緊張した様子で真剣に取り組んでいました。

実際に避難します



基調講演の様子



震災復興ポスター撮影

撮影中の様子。多高生の元気が伝わるポスターになるといいですね！



12月10日、東日本大震災からの復興をPRするポスターの撮影があり、本校から生徒会や有志の生徒が参加しました。これまで気仙沼の復興商店街や石巻の魚市場などでも撮影され、全国の主要駅や高速道路のサービスエリア等に掲示されており、上のような「ありがとう」と書かれたポスターを駅などでご覧になったことのある方も多いと思います(ちなみにこのポスターは再建された七ヶ浜中学校の様子です)。宮城

「高校生レストラン」生みの親です！

岸川政之氏特別授業

12月11日、三重県百五銀行・まちの宝創造アドバイザーの岸川政之氏をお迎えし、特別授業を行いました。三重県相可高校の現役生徒が経営するレストラン「まこの店」など、「コミュニティビジネス」の手法を取り入れた地域おこしに取り組んでいる方で、多くのメディアに取り上げられています。平成23年に放送されたドラマ「高校生レストラン」は、このまこの店をモデルとしており、大きな話題にもなりました。

■小野薫 (1年1組 多賀城中出身)

今回の講話や高校生レストラン等の活動を通じて、岸川先生のような、人々の夢や可能性を広げる仕事は素晴らしいと思えましたし、自分を変えたいと思う高校生が増えればいいなと思います。実際、私もそのうちの一人で、岸川先生には「チャンスをくれてありがとう」と言いました」という思いを持ちました。



多高生×多賀城市ジュニアリーダー

まち歩き 防災探検隊活動

12月12日、本校防災委員有志と多賀城市のジュニアリーダー（多賀城市在住の小学生や中学生のリーダー）による防災探検隊活動を行いました。



まち歩きの様子



公民館に戻り、まち歩きをもとにした防災マップ作りを行います。

まず、多賀城市中央公民館で全体オリエンテーションを行い、2グループに分かれて「まち歩き」を開始しました。「まち歩き」では、本校が設置した津波波高標示プレートの箇所を津波の高さを確認し、改めて津波の怖さを実感しました。また、専用の時計を用い緯度経度でその地点を表す「UTMグリッドコード」を計測して記録したり、非常時避難施設や公園、消火栓などといった災害時に役立つ施設設備も確認しながら探索しました。「まち歩き」終了後は中央公民館に戻り、「まち歩き」の情報をもとに防災マップ作りに取り組み、それぞれ工夫を凝らしたマップについて、最後にお互いに発表し合いました。

国連講演会・模擬国連

午前の講演会の様子



12月12日、東京の大学から大学生2名を講師としてお招きし、国連についての講演会と模擬国連が行われました。

午前中は1年生全員を対象に、国連についての理解を深めるための講演が行われました。午後からは語学研究部を中心に12名の生徒が模擬国連を体験しました。参加生徒は、それぞれが国連加盟国の国連大使になり、事前に担当国について調べた

ことを頭に置きながら、自国に有利になるよう熱心に交渉して行きました。決議案の採択では、先進国が発展途上国に押し切られる形で、先進国の資金拠出の割合が多くなる内容となり、現実世界と異なる交渉結果が面白いものとなりました。また、自国の開発重視のスタンスのため責められる場面が多かったにも関わらず、決議案から自国に不利な文言を削ることに成功した中国を担当した生徒が、優秀な国連大使として表彰されました。



決議後の記念撮影



交渉する「大使」の皆さん

■秋山美温（1年1組 しらかし台中出身）
私はキューバの代表として参加しました。キューバは発展途上国でありながら、防災のモデル国といわれるほど防災に関してのノウハウを持ち合わせている国で、今回の模擬国連での交渉を進めやすい立場にあったと思います。次回は、アメリカや中国などの難しい立場にある国にも挑戦してみたいと思います。

奈良大学・多賀城市・多賀城高校 連携協定を結びました！

(左から)小泉校長, 千田奈良大学学長, 菊地多賀城市長, 菊地多賀城市教育長



12月14日、多賀城市役所において、奈良大学及び多賀城市教育委員会連携のもと、文化、教育、学術等の分野で相互に協力し、学校教育及び学術の振興並びに地域社会の発展と人材の育成をはかることを目的とした「包括連携

協定」を締結しました。締結式には、奈良大学の千田嘉博学長、多賀城市の菊地健次郎市長、菊地昭吾教育長が出席し、協定書の取り交わしを行いました。これまで多賀城市は奈良市とは友好都市関係を結んでおり、今回は両市にある教育機関が連

携協定を結び、大学の有する専門的な研究を児童、生徒、市民に還元し、両市の友好と交流に資する内容となっています。今後、奈良大学の教員による特別授業や、本校及び多賀城市内児童生徒の奈良大学への訪問学習などで、文化財学（考古学、美術史、保存科学、文化財マネジメント、文化財博物館学）や地理（環境、都市・農村、歴史・観光、地理情報）、史学（日本史、東洋史、西洋史）の分野などについての学びの充実が図られます。

神戸大学附属中等教育学校 交流会

12月16日、本校に神戸大学附属中等教育学校の生徒会をはじめとした有志生徒7名と先生2名が本校を訪れ、交流会が行われました。本校からは生徒会執行部全員でお迎え



ワークショップでは、各自の考えをふせんに書き出し、まとめていきます。

し、阪神・淡路大震災や東日本大震災当時の様子などについての情報交換やワークショップ等を行いました。

■遠藤瑠花（2年2組 郡山中出身）
今回は神戸大学附属中等教育学校との生徒間交流に参加させていただきました。お互いの学校の紹介や、1年4組・平塚亜美さんの被災体験発表のあと、「3月12日 始まりの「ご飯」というテーマで東日本大震災のとき最初に食べたご飯は何かというのを思い出しながら話合いました。それぞれの当時の体験談やその時の神戸の様子など、私自身初めて聞くような話がたくさんあり、とても勉強になりました。宮城県外の方にも震災当時の様子を知ってもらうのは大切なことだと思うので、今後外部の方との交流を活発にやっていきたいと思えます。

情報セキュリティ講演会



12月16日、2学年の授業「情報の科学」の一環として、技術研究制御システムセキュリティセンター理事長・電気通信大学教授の新誠一氏を講師にお迎えして講演会を行いました。

■佐藤恭美（2年2組 多賀城中出身）
人が失敗することは当たり前で、次の失敗を防ぐためにコンピュータを進化させていくことが大切なんだとい

うことが、とても深い言葉だと感じて印象に残りました。しかし、インターネットの誤作動などの問題が深刻化しており、コンピュータの能力がどんどん上がり、コンピュータがどこまでできるのか人間自身が分からなくなっているということもとても恐ろしいことだと感じました。今回の講話は専門的で難しく感じましたが、これからの私たちにとっては必ず必要になることなので、情報についての知識はしっかり理解し身に付けていきたいと思いました。

合唱部 復興住宅コンサート

12月20日、多賀城市桜木復興住宅で行われたクリスマスコンサートに本校合唱部が出演し、心に花を咲かせよう合唱団と共演しました。



■副部長 魚住なちか

(2年3組 岩切中出身)
今回のクリスマスコンサートでは、「きよしこの夜」や「サンタが町にやってくる」などの、クリスマス定番の曲の演奏はもちろん、J-POPも歌いました。会場に来て下さった方々には、一緒に口ずさんだり手拍子を取ったりと楽しんで下さっていた様子で、私たちもとても楽しく歌うことができました。また、コンサート終了後は、来てくださった方々とお話をする時間があり、私たちの演奏を良かったと言ってくださりとても嬉しかったです。このような貴重な経験を、私たちの今後の活動につなげていきたいと思えます。

山岳部男女・弓道部女子 平成29年 南東北インターハイ 強化指定校に選ばれました！

平成29年に南東北3県で共同開催される南東北インターハイに向け、本校から山岳部男子・女子、弓道部女子が強化指定校に選出されました。総体や新人戦での活躍が認められての選出となります。おめでとうございます！



山岳部, 弓道部のみなさん

来年も、多賀城高校を
どうぞよろしく
お願いします！



来年は申年ですね